

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・打合せ ・協 議	文書番号	1 8 4
		決裁期日	平成 2 5 年 5 月 2 1 日
名 称	第 1 回放課後子どもプラン事業運営協議会会議		
日 時	平成 2 5 年 5 月 2 0 日 (月) 1 6 時 0 0 分 ~ 1 7 時 0 0 分		
場 所	社会教育総合センター 大集会室		
出席者	委員：稲毛委員長、米澤副委員長、堀内、中村、山口、加藤、佐藤、安西、杉本、 瀬田、安井、藤田 1 2 名 教育委員会：教育長、教育振興課長、鈴木主幹、飯村主任、月東社会教育指導員		
内 容	<p>野崎課長進行。</p> <p>委嘱状交付・・・教育長から、各委員に委嘱状を交付。</p> <p>教育長挨拶</p> <p>天候の方、なかなか良い天候が続かなかったが 16 日ごろから天候回復し桜も概ね満開となりこの天気が続けばと思っていたが今朝は雨が降り若干寒い状態ですが、今週末には、上中の体育大会もあり、天候の方は回復するようです。そのまま良い天候続けばと思うところです。</p> <p>本日は、大変忙しい中、第 1 回放課後子どもプラン事業運営委員会にご参加いただきありがとうございます。只今、委嘱状の交付をさせていただきました。任期は 2 年となっております。放課後子どもプラン事業については、平成 16 年度から 3 年間道の委託事業として実施し、平成 19 年度から町で実施するようになり本年で合わせて 10 年目を迎えます。その間、皆様には大変お世話になり、いろいろな事業の内容の変更等をして本日を迎えているところであります。引き続き安心して安全な居場所づくりという部分で色々な事業運営致しますので、それらに対して忌憚のない意見を戴きレベルアップをできるように進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p> <p>委員等自己紹介・・・各委員、教育委員会担当職員の自己紹介を行なう。</p> <p>役員選出・・・野崎課長より放課後子どもプラン事業運営協議会の設置に関する規則第 4 条第 2 項の規定に基づき、委員長及び副委員長は、委員の互選により定めることとなっている旨の説明をし、委員の発言を求める。</p> <p>安西委員：昨年度まで委員長に稲毛委員、副委員長に米澤委員にお願いしご尽力いただいた。引続き今任期についても両氏をご推薦いたします。</p> <p>野崎課長：只今、安西委員より委員長に稲毛委員、副委員長に米澤委員をご推薦いただいたが、その他にご意見ありますか。(意見なし)ご意見なければ、只今ご提案のあり</p>		

ました、委員長に稲毛委員、副委員長に米澤委員というご提案に対して皆様のご承諾を頂きたいと思いますが。(各委員より拍手)満場一致でご承諾頂きましたので、稲毛委員長、米澤副委員長よりよろしくお願い致します。

稲毛委員長、米澤副委員長より一言ご挨拶をお願い致します。

稲毛委員長：皆様、改めましてこんにちは。この会は子どもたちの安心安全のためにこの運営委員会が子どもたちのために何が出来るかという事を協議しながら良い方向へ向けていきたいと思っておりますのでご協力よろしくお願い致します。また、この会は、毎回最後に皆様に意見を一ついただいておりますので、考えておいていただければと思います。

米澤副委員長：副委員長に承認頂きました。委員長を補佐しながら、皆様のご意見、ご協力をいただきながら運営委員会に努めさせていただきますので、なにとぞよろしくお願い致します。

(これより稲毛委員長進行)

報告事項・・・飯村主任より報告

(1)平成24年度の事業実績報告について

3頁～4頁について報告

1.事業費の実績：平成24年度放課後子どもプラン事業費の収支状況について資料を基に説明。

2.登録数、利用数の実績：放課後スクール、みんなで遊ぼうの記載誤りについて、口頭で訂正のお願いをする。枠外右上の()は平成22年度とあるのは、23年度の誤り。

平成24年度の登録数は、クラブ99人、スクール111人、みんなで遊ぼう25人で事業全体で235人の登録状況となり、概ね前年度並みの登録利用状況となっている。

3.会議、研修会の参加状況：前回1月の運営委員会より追加のあった部分について説明。(1/12、1/17、1/30の研修会への参加状況について報告)

4.ボランティア等支援状況：地域ボランティアの支援については、延べ151の方に支援いただいた。

発達支援センター地域支援活動について、平成24年度中に発達支援センターの松田保育士に11回巡回訪問頂いた。平成25年度については、発達支援センターの米川保育士が担当することとなっているが、平成25年2月に上富良野町相談支援センターが立ちあげられ、そちらの施設を利用している児童の状況等を把握することに重点をおいて放課後子どもプラン事業の巡回訪問を行なうとのことであり、前年度のように年間計画を立てずに不定期での訪問となることで伺っている。

5月24日(金)に本年度1回目の訪問を上小、上西小ともに行なう事で連絡いただいているのでご報告します。

5.事故・保険請求について：平成24年度中に9件の事故があり保険請求した。全件とも完治し保険請求についても手続き終えている。また、平成25年度について、4月26日に上小3年女児が頭部打撲で通院している。こちらについても、完治し保険手続きも既に終えているので報告いたします。

稲毛委員長：報告事項の中で何かご質問等ございますか。

中村委員：今、事故の件で報告ありましたが、スクール、みんなで遊ぼうの事業中

内 容

の事故のみか、クラブについても入っているのか伺いたい。

飯村主任：放課後子どもプラン事業全体での事故である。上西小の児童のけがについて、クラブ・スクールのどちらに登録している児童の事故の区分けについて報告する。

協議事項・・・飯村主任より説明

(1)平成25年度登録状況(4月末現在)について

5頁の平成25年度放課後プラン事業登録申込状況について説明。4月末現在でクラブ88人、スクール116人、みんなで遊ぼう26人、合計230人が登録し利用している。また、本日現在でクラブ4人増、スクール6人増となり全体で240人の登録となっていることを報告。

(2)放課後子どもプラン事業指導員体制について

上富良野町放課後子どもプラン事業指導員等配置取扱要綱：本事業は、平成19年度より実施しているが、今まで指導員の取扱いについて明文化したものが無い中で実施してきた。今回要綱として明文化し本年度より実施していくこととした。内容については、今まで行なってきたことと変わりがないので昨年度から変更となっている部分について説明する。14頁の別表1について、昨年までは指導員の資格の有無にかかわらずコーディネーター、特別支援指導員の謝金は、1時間当たり一律790円を支給してきた。本年度より、保育士、幼稚園教諭等の資格保持者に限り、経験年数に応じて別表1に記載となっている単価での支給となる。また、別表2について、昨年は療育手帳、身障者手帳等の交付を受けている児童の受入れがなかったため、特別支援指導員を配置していなかったが、本年度は国の特別支援児童に関する扱いが緩まったことにより手帳等の交付を受けていなくとも特別支援学級に在籍している児童を放課後クラブで受け入れる場合は、補助金の加配が受けられるとのことでしたので、上小に1名、上西小に1名の特別支援指導員を配置し実施しています。

特別支援にかかる学校との情報交換：昨年度と同様に引き続き実施していく。

放課後子どもプラン推進事業研修会：第1回放課後子どもプラン事業指導員研修会の参加状況について報告。また6月20日に救急講習会を実施することとなり、参加状況については次回の運営協議会で報告することを説明した。

(3)放課後子どもプラン事業の周知について・・・月東社会教育指導員より説明資料16～19頁をご覧になっていただければお分かりになると思いますが、毎月実施している指導員会議の中で決定した日々の遊びの内容と保護者への連絡事項を記載し、学校と登録児童へ配付し周知を図っています。また、児童への配布に当たっては、教頭先生をはじめ各学校の先生方にご支援を頂いていることをご報告致します。

稲毛委員長：協議事項(1)～(3)までで、何か質問等ございませんか。無いようなので、ここで各委員よりご意見等いただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

堀内委員：学校とあまり係わってなく、学校に負担をかけないような配慮がされているのかなという感じを受けている。上小の子どもも大勢利用しているので情報交流を定期的に行なったら教員も放課後の様子が分かり生徒指導に活かせると感じています。

中村委員：日頃お世話になってます。子どもたちが言う事を聞かないという事も

聞いています。その様な場合は、連携を取りながら指導も含めて家庭と連絡が取れればいいと考えている。また、昨年放課後子どもプランを利用している児童で習い事に行ってから放課後クラブの方に戻ってくるといった誤った使い方をしている児童があり、保護者の方々に文書で周知し、きっちりとした対応していただき大変ありがたいと思っております。今後も何か問題が生じた時は、連携を取りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

山口委員：いつもお世話になりありがとうございます。今年の1年生で2名特別支援の子が入学し、放課後が終わった後などにたまに見て情報交換もしている。今のところ心配なこともなく安心しているが、入学して2カ月が経ち学校の普通の生活の中で失敗することが何度か出てきたので、これから放課後の中でもトラブルや失敗が出てくるのではと思うのでその様な時は遠慮なく学校の方へ言っていただきたい。

加藤委員：江幌小の子どもたちとみんなで遊ぼうで遊んでいただき非常に助かっている。全ておまかせですとやっているが、そのままおまかせばかりではいけないなと思う事が昨年度あった。外遊びの計画を立てて下さったときに子どもたちが外遊びの支度をしてこなかった為に予定が変わってしまったという事があったので、私達も予定表を見て子どもたちに指導しなければいけないと反省している。今年は予定表を見て子どもたちに声かけをしていきたいと思えます。

佐藤委員：昨年何回か放課後や長期休業中の指導している姿を見に行った。指導員の方は一生懸命やっているという感じを受けている。また、上富良野町の放課後子どもプラン事業はすごく充実していると感じながら見ています。大変だとは思いますが、子どもたちのことを今後も見ていただければ嬉しいなと感じています。

安西委員：いつもお世話になってます。指導員の要望を学校に聞いてもらって感謝しております。その年によって、子どもたちが多い年や少ない年ありますが、子どもたちが皆元気に仲良く遊べるように私達も精一杯努力したいと思います。

杉本委員：私は放課後クラブの指導をしているわけではないが、剣道少年団で子どもたちの指導をしているので、なかなか難しいなと感じることがある。スポーツ少年団は、目的を持って来ているのでやりやすいが、放課後クラブの子どもたちを指導するのはなかなか大変なのではと思う。褒めればその気になるだろうし、叱れば大変だろうし、その加減が難しいのではと思います。私も一度放課後クラブの様子を見てみたいなと思っております。

瀬田委員：お伺いしたいのですが、指導員になるのには、何か資格が必要でしょうか。

飯村主任：指導員になるのに必要な資格はない。65歳未満で健康な方なら保育士免許等を持っていない方でも指導員になることができる。

瀬田委員：指導員のスキルアップですが指導員の研修会をやっているが、技術的なことのスキルアップはやっているのか。

飯村主任：年々、お預かりする子どもたちの難しさと言うか、特別な支援を要する子どもたちが年々増えてきているという事もあり、また指導員も子育てに係わることが少なかった男性の指導員が多いなかで子どもたちへの接し方等含めて、基本的なことから研修をし見識を深めています。

瀬田委員：道民カレッジでボランティアセンターで学校の施設を使って実施した

り、昨年も砂川青年の家で3泊4日で実施した。今年も1泊2日でやっている。放課後クラブでもそういうものを活用されたいいのではと思います。

安井委員：当日配布で平成24年度の児童館の利用実績お配りした。運営の状況は特に変更点はない。利用者数は、小学生については東・西児童館共に500人弱利用者が増えている。今年度から児童館の職員の任用方法が変更となっていることもあり放課後クラブの研修会に児童館の職員が出席させていただいたり、保健福祉課で子育て研修会を年に何回か開催しているが、そちらの方に放課後の指導員の方に出席いただいている。

また、発達支援センターの体制が変更となり、定期的に巡回訪問することが本年度はできないが、子育て支援センターの職員が本年度増員になったので、そちらの方から放課後クラブの方に定期的に巡回訪問できるような形にしたいと思いますのでよろしくをお願いします。

藤田委員：4月から新1年生が利用しているが、なかなか保護者がスクール・クラブの利用方法を理解していないため、担任の先生の方に放課後の出欠の連絡をしてくださる方がおり、スクールカレンダーの方にも学校ではなく教育委員会又は放課後クラブ・スクールの方に連絡するように記載しているにも関わらず、なかなか保護者に伝わらない。この2週間でクラブのお子さんが間違えて帰宅してしまい教育委員会の職員が探すという事もあり、保護者が仕組みを理解していないというのがまだある。

毎日たくさん子どもたちが利用しているが、その中で子ども同士のトラブルもあり仲裁に入り子どもたちのケンカを止めたりするが、どうしてもない時は日誌等に記入し、教頭先生をはじめ担任の先生方に相談しながら子どもたちの指導をしていきたいと思っている。

稲毛委員長：ここまでで、何かご質問等ありますか。なければ議事に戻りたいと思います。議案の(4)の前に(5)を先に協議したいと思います。事務局説明をお願いします。

(4)(5)について飯村主任より説明

(5)その他

メール配信サービスの任意登録状況について、5月10日現在事業全体で137件の登録状況となっている。昨年度のメール配信の実績としてはインフルエンザによる学級閉鎖等に係わる利用制限について上小1回、上西小2回、悪天候による集団下校に係わる放課後スクールの中止について上小、上西小で各1回の計5回のメール配信を行なった。

メール配信については、保護者が確認したかどうかわからない為、電話でも確認を行っており、また同様の連絡を学校からも行っているため、保護者からのクレームもある。メール配信の方法等課題もある。

学校支援地域本部事業との連携ですが、放課後子どもプラン事業の指導員については、全員ボランティア登録をしていただき、4月13日(土)の西小参観日に6名、4月14日(日)の上小参観日に5名の指導員が託児ボランティアとして支援していただいておりますことをご報告いたします。

・その他：佐藤委員より平成25年度上富良野町小中学校参観日等の予定一覧について説明

お手元に本年度の各小中学校の参観日の予定一覧をお配りした。子どもたちの学校内での様子を見る機会なかなかないと思いますので、参観日と言うと保護者の方だけが行けるものだという考え方があると思うが、最近の学校は開かれた学校をということたくさんの方に学校に来ていただき子どもたちの様子を見ていただきたいと思ひ昨年度よりお配りの表を作成しております。ぜひ参観日に学校へ行き子どもたちの様子を見ていただきたい。

稲毛委員長：メール配信の件ですが、後で調整をするのか。

飯村主任：学校と上手く連携を取った中で進めていければと考えている。

教育長：連絡が来ないで怒られるより、多く連絡が行って怒られた方がいい。学校と放課後とでは連絡の内容も若干違う。

堀内委員：学校が学級閉鎖になった時は、放課後クラブも学校に合わせて利用できなくなるのか。

飯村主任：学校と連動し、対象となる学級の児童については学級閉鎖の期間中利用ができなくなる。

中村委員：学校のメールも万全ではない。昨年メールを登録して登録完了メールを送信したので情報が登録者にいってるものと思っていたが実はメールが送信されていなかったという事があった。Eメールで送信できませんでした。と返信が来るものには対応できるが、一部の機種でフィルタリングの関係で返信が来ない場合があることが分かった。学校の方でも年に何度かテストメールを配信し、登録者に情報がきちんと行くよう対処していきたいと思っている。

稲毛委員長：メール配信については、今まで同様に進めていくことをお願いします。

(4) 今年度の運営協議会の開催について

本会議については年3回の計画で実施しています。次回は9月の開催を予定している。日程については教頭会等関係機関と調整した中で決定していく。

また、放課後子どもプランの様子を見たことのない委員もいると思いますので、次回は放課後クラブ・スクールの様子を見学していただこうと考えております。

稲毛委員長：全体をどうして何かご質問ありますか。

鈴木主幹：堀内委員のお話にもあったが、昨年度より放課後指導員、教育委員会、学校の先生等と情報交換をしている。一定期間経過した時点で教頭先生を通じて情報交換の機会を設けさせていただくのでよろしくをお願いします。

稲毛委員長：情報交換について昨年度の実績がなにかあるのか。

飯村主任：議案の4頁目に記載していますが、昨年度上小2回、上西小1回の計3回の情報交換の場を設けさせていただいている。上小についてはメインルームと職員室が離れているという事もあり年2回学校と調整し情報交換の場を設けていただいている。その他の学校については、教頭先生や担任の先生と指導員が都度情報交換をしているため特段情報交換の場を設定いただくことはないが、昨年度については上西小で個別に情報交換必要な事案が出来たので調整いただいた。

本年度1回目の上小の情報交換については、運動会終了後でと考えている。日程の調整については、教頭先生の方をお願いすることになりますので、お手数おかけしますが宜しくお願いします。